

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営理念

創造性豊かな活力に満ちた役職員により、伝統を守りつつ、いかなる時代、いかなる環境にも適合する会社を目指す

売上高
110億円

経常利益
8.3億円

経常利益率
7.5%以上

ROE
8.0%以上

2 中長期の経営戦略

1. 財務戦略

安定的な財務体質の維持と高い資本効率を軸とし、営業キャッシュ・フロー積み上げと戦略的設備・研究開発投資を実施

3. 業務生産性向上戦略

同業他社比秀でた生産性実現。カーボンニュートラル貢献する先進的製品開発と部門間コミュニケーション拡充

2. 顧客満足向上戦略

ファースト・コール・カンパニーを目指し、顧客のニーズに的確に応え事業発展に貢献。海外重点エリアでの生産・営業展開

4. 組織活性化戦略

役職員が働く誇りを持つ会社を目指す。新規事業創出力強化、人財育成・コスト削減、グループ相乗効果発揮施策推進

3 対処すべき課題

① 自動車市場の変化対応

- ・国内生産・販売台数回復遅れへの対応
- ・自動車EV化進展に伴う広範な影響への的確な対応
- ・誘導炉市場向け製品拡販と金属粉末溶解市場への展開

② カーボンニュートラル対応

- ・CO2削減をキーワードにした工業炉開発を最大課題と認識
- ・自社工場におけるカーボンニュートラルへの取組（オフセットガス、グリーン電力利用）
- ・SU炉等新製品開発によるカーボンニュートラル対応

③ 経営環境への対応

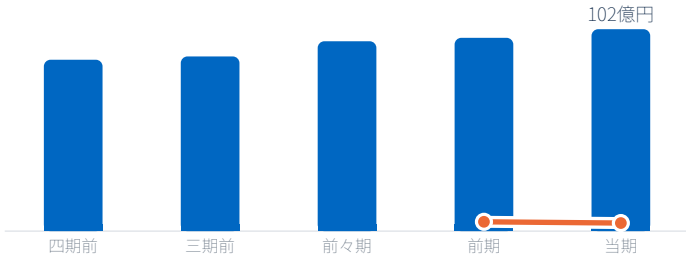
- ・原材料・燃料価格の高止まりと為替相場変動への対応
- ・鉄鋼市場における製鉄所再編の影響対応
- ・海外市場（アジア、欧米）での事業拡大と現地生産化

面接で使えるポイント

- ・2040年に連結経常利益20億円達成を目指し、創業1885年の『4世紀をつなぐ企業』ビジョンを掲げている
- ・耐火物・サービスの総合的ソリューション提供力がコア・コンピタンスであり、ファースト・コール・カンパニーを実現
- ・工業炉事業の拡販、フリーダム・MK炉・NM炉・SU炉等の新製品でカーボンニュートラルに貢献

証券コード 5355

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
102億円営業利益率
4.0%財務健康度
41点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 45.2（当サイト算出の参考指標）

平均年収
681万円

ガラス・土石製品内 29位/47社

平均年齢
44.2歳

ガラス・土石製品内 17位/47社

平均勤続
15.2年

ガラス・土石製品内 31位/47社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

